

未来を開く

長井市立長井北中学校 No25 令和5年10月16日

第42回創立記念式を挙

10月14日は、長井北中学校の創立記念日です。今年度は、土曜日にあたり休業日と重なることから、10月13日(金)に式を挙行しました。42年の歴史と伝統を基盤に、更なる学校づくりを決意する式となりました。

《校長式辞より》 抜粋

創立記念式には、学校の原点に立ち返り、今を見つめるという意味があると、私は考えます。そこで、「歴史」と「伝統」の「原点」である開校当時の方々のお思いを、ここにいる皆さんと共有してみたいと思います。

当時の長井市長であった齋藤伊太郎氏は、開校式の式辞で「画竜点睛」を引用し、次のように述べられています。「素晴らしい自然環境の中に、見事な校舎ができあがった。しかし、最も大切なことは、生徒の皆さんがやってくれる仕事だ。それが残っている。臥龍点睛、この言葉の意味をかみしめてほしい。この学校に血を通わせ、魂を入れるのは皆さんだ。どんな魂を入れるか、それは皆さんが決めることだ。」

それ以降、北中生はこの学校に血を通わせ、魂を入れ続けています。今、皆さんもそれをやっているわけです。

次に、初代校長の穂刈純一先生は、式辞で次のように述べられてい

ます。「この学校はみんなの学校である。一人一人が自分の考えや意志をはっきり持ち、相手の気持ちや考えを尊重し、規律ある集団生活を築かねばならない。」また、「たくましいからだだとたくましい精神を持った生徒になってもらいたい。たくましいからだとは、

丈夫なからだを持ち、難儀な事にも挑戦し困難に耐え抜く力を持つということ。たくましい精神とは、自分さえよければいいという利己主義を排し、互いに励まし協力し合って向上しようとする精神。まとめて言えば、『たくましいからだだとたくましい心で、常に伸び行く北中生』となってほしい。」

それ以降42年、北中の学校教育目標「たくましいからだだとたくましい心で 常に伸び行く北中生」が脈々と受け継がれ、その目標に向かって、生徒と先生方がともに歩み続けてきた結果、今の校風と伝統が築かれてきたのです。

お二人の言葉から、皆さんは何を思いますか。私は、「歴史」と「伝統」とは言うけれど、学校は常に生きていること、変化していることをまずは思います。次に、北中は北中生一人一人の学校であること、北中に血を通わせ魂を入れ、どんな学校にするかはその時々の生徒、今は皆さん自身の手にかかっていることを思います。

学校づくりに終わりはありません。生徒会スローガン「樹(いつき)」の下、「たくましいからだだとたくましい心で 常に伸び行く北中生」となり、更に一つ上を歩む「伝統」と「校風」を創っていきましょう。



《生徒代表の言葉より》 抜粋

今、体育館の壁に掲げられている絵は、41年前の先輩方600人余りが力を合わせて作ったものです。現在の北中周辺と同じ風景のように見えませんか？きっと、41年前の先輩方は、この風景をいつまでも守り続けてほしいという思いで、この絵を作ったのではないのでしょうか。そして、この絵と変わらない風景が、今ここにあるという事実は、私たちを含め、42年間守り続けて来たという証なのではないのでしょうか。

今年度の北中の良さは、自分から挨拶ができること、クラスや学年の団結力が高まってきたこと、笑顔で過ごす素直な人が多いことなど、たくさんあります。もちろん、課題もありますが、一つ一つ活動を行って行く中で、確実に力を付け、北中の良さはどんどん増えていると思います。

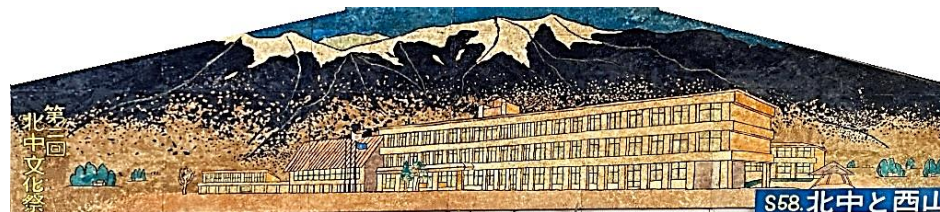
今年は、生徒会スローガン「樹」を掲げ、生徒会活動を行っています。二大行事の一つ運動会では、「三樹百獲」というスローガンのもと活動を行い、全校生で盛り上がり一つのことを成し遂げる達成感を味わうことができました。そして今、文化祭に向けて「成樹」というスローガンのもと、合唱練習や、文化祭準備を進めています。どちらも「樹」をより成長させることを目指すと共に、日常生活をより充実させるために、全校生が一丸となり新たな北中を創り上げようとしています。

今日の午後には北風活動の一環である全校ボランティアがあります。それぞれ、部活動などで使わせていただいている場所で、北中学校を支えてくださっている地域の方々への感謝の気持ちをもって活動を行ってほしいと思います。



全校生の皆さん、長井北中学校の歴史に誇りを持ちながら、一日一日を大切に過ごし、これからの長井北中学校を全校生で創り上げていきましょう。

【41年前に製作された「北中と西山」】



【現在改修中の北校舎の屋根】



手前（北校舎）が新しく葺き替えられた屋根

奥（渡り廊下）がこれから拭き替えられる屋根です。



42年の歴史に耐えてきた屋根の雪止め

雪の重みで曲がっています。